

総会協議題

- 1 令和4年度事業報告 『富山の生物』 p148 に掲載 資料①
全員：異議なし。
- 2 令和4年度会計報告 『富山の生物』 資料②
全員：異議なし。
- 3 令和4年度会計監査報告 石須秀和さんと村井仁志さんが監査 資料③
全員：異議なし。
- 4 令和5年度役員 資料④
全員：異議なし。
- 5 令和5年度事業案 『富山の生物』 62号 p150 に掲載
公開講演会 5月21日(日) 中央植物園で開催
総会 5月21日(日) 公開講演後開催
生物総合調査 6月25日(日)・9月24日(日) 小矢部市子撫川(小矢部川水系)
公開観察会 8月20日(日) 有峰森林文化村と共催
研究発表会 11月26日(日) 富山市科学博物館
『富山の生物』 63号発行 令和6年3月
『富山の生物』の公開(HP上) 発刊後2年が経過したものをPDFで公開する

佐藤：PDFでの公開は、今後も順次進めていく。

6 その他

- 「富山の生物」No62の印刷製本費はページ数の増加と物価の高騰により、例年より高くなった。
来年度(R5)の「富山の生物」No63の原稿の募集について工夫が必要。

佐藤：63号の発行については、予算額の28万円以内に収まるように調整する。

今後どうするかについては、今年度中に考えて、64号から反映させる。

以下のような意見が出た

- ・投稿10ページ以内は無料だったのを5-6ページ以内とする。
- ・超過分1ページ1000円だったのを2000-3000円に値上げする。
- ・製本せず、PDF化してCD-R媒体で配布する。
- ・PDF配布はダウンロード形式(会員にのみパスワード通知)にする。
- ・印刷会社を変える。
- ・紙をもっと安価なものにして製本費用を抑える。
- ・総合調査報告に対してもページ制限をする(超過分は有料)。
- ・総合調査報告はPDF化してHPで公開し、原著論文のみ製本にする。

○ 100周年について

小河川の総合調査記録を90周年記念で編集した普及版形式(PDFで公開)に従って、その後の10年間に行った調査記録を追加して、編集し作成する。それを本会ホームページ上にPDFで公開する。90周年記念で編集した概要版の冊子(日本海学推進機構からの

助成金を利用して印刷)は作らない。

- ・講演会(県内数カ所で、あるいは巡回展など)のイベントを企画する。
- ・100周年記念の行事は、2025年度中で実施する(予定)。

全員：異議なし。

○「レッドデータブックとやま」改訂について

富山県自然保護課野生生物係小塚史眞氏が説明。

委託先は公益財団法人花と緑の銀行(県中央植物園)

白石：パブリックコメントの期間をしっかりとっていただきたい。

稲村：生物学会が哺乳類、爬虫類・両生類、魚類、軟体動物(淡水産・陸産貝類)、甲殻類の分野の再委託を受ける方向で調整していき、役員会を開いて詳細を決定する。今後、税制対応を調べる。事務処理に関しては稲村が担当するが、状況によって受託の可否を判断する。